

## 真に<sup>おそ</sup>畏るべきことが起こりつつある

誰が大統領になろうが、トランプはすでに勝っている——確実に！

SOTN Exclusive

January 12, 2021

もっと正確に言えば、「我々人民」は勝っている。

1月6日の議会による、投票人団投票の確定プロセスは、全面的に吹き飛ばされた。これはかつて、起こったことがない。それに近いことさえ起こったことがない。

議事堂ビルが襲撃された。これもかつて起こったことがない。それに近いことも起こったことがない。

今現在、我々は、大統領就任日に急速に近づきつつあり、ワシントンDCは急速に、厳しく固められた、要塞都市へと要塞化しつつある。これもこれまでになかった。それに近いことも起こったことがない。

どうです？ もうおわかりですか？！

ワシントンDC内部の権力エリートは、完全武装した（比喩的に）8千万人もの愛国者運動の力が、いかに強力かを、心から恐れているのである。そんなことはないって？ ええ？

それは、そのように起こらねばならなかったのです、皆さん。

トランプは、民主党の共産主義者も、「深層国家」謀反人も、共和党のNWOグローバリストという敵も、そのすべてを被告人の側につけている。

この者たちは、自分たちが、どっちへ行こうとしているのか、わからないでいる——まったく本当のところ！

そのために彼らは、第 25 修正条項に対しても、弾劾案に対しても、ただ自棄的に、向こう見ずに動いている。民主党の選挙泥棒たちは、心から恐れ、完全に怯えながら、どうしてよいかわからないでいる。

## なぜだろう？

なぜなら、チーム・トランプは、彼らの市民権を完全に押さえ込んでいる (has them all **dead to rights**) からである。(行為の現場を押さええていること——注)

ここで肝心のポイントは、世界全体が目撃しつつあることである——何を？——アメリカ合衆国が、ペテン師ジョー・バイデンの大統領フェイク就任を、完全に確定する様子を——2020 米大統領選挙は、明らかに彼が盗んだものであるにもかかわらず。

このような見るも哀れな光景が、大衆に与えたのは、民主党は、世界の歴史で最大の選挙強盗を、うまくやってのけたという事実でしかない。

ところで、それは大きい——実に大きな意味をもつ！

「実に大きなもの」とは、例のすべての反米の容疑者たちが犯した、そのような巨大で複雑な犯罪騒ぎが、速やかに、世界に広く知られていくことである。

そして、そのようなものとして、一つの野蛮で反民主主義的な現実が、アメリカ人の心にも、他の国の人々の心にも、ある前例のない、途方もなく大きな変化が、ゆっくりと、しかし確実に進行していることを、植え付けつつある。

この重要な意識の高まりが、そのあるべき状態に達したとき、それは完全に美しいものになるだろう。そして、トランプ大統領が好んで言うように「途方もないことが起こるだろう！」

しかし、その途方もない変化 (sea change) とは、実際どのようなものか？

**古い世界秩序が崩壊しようとしている:**

**The Old World Order Is About To Dissolve**

<http://stateofthenation.co/?p=47188>

この地球的な変貌の、全く止まることのないシナリオには、ただ一つの注意書きがある。

そこには、全くドラマチックで、完全に予言のできない移行の期間があり（それはすでに始まっている）、それは間違いなく、思いついたように展開するだろう。

トランプ運動の勝利の直後に、敗北があるように見えるだろう。そして敗北の後に勝利があるだろう。それは全く問題がない。それは、暗黒サイドが、運勢の大きな逆転を経験しようとするとき、いつも起こることである——必ずそうだ。

それはまた、この「大きな船の方向を正す」ときに起こることは、ちょっと退屈で複雑な過程を経て起こるもので、最初は、ビルの解体工事のように見えるからである。

ところで、トランプ大統領はすでに、彼が地球上で最も強力な解体ハンマーを、もっていることを証明している。MSM（主流メディア）＝フェイク・ニュース。民主党＝共産党。DNC（民主党全国委員会）＝中国共産党。米司法省＝盗賊のたまり場。FBI＝エリート保護周旋屋。SCOTUS（米最高裁）＝嘘つきの隠れ家。NATO＝北大西洋テロリスト機構。UN＝One World Government。グローバリズム＝New World Order。Great Reset（大リセット）＝最終的悪党仕事。コロナウィルス・パンデミック＝大ペテンデミック。2020 米大統領選挙＝大スチール選挙。CNN＝Communist New Network。等々…

ところで、この騒動が終わって、愛国者運動が完全に森から抜け出し（議事堂に入る）まで、人々は明日がないかのように祈るべきである…

どうぞ、あなた自身の役目を果たしてください…。

このような情報/データを、可能なあらゆる場所へ、あらゆる方面へ送ってください…

そして、神がいつも働いているという信念をもってください、…たとえ暗黒サイドがそう見えても。

なぜなら、最後には、光の力が常に、暗黒の力に勝利するからです。

——情報アナリスト & 元米軍オフィサー

SOTN 編集者ノート：我々の中で、この大昔からの真理を知らない人がいるだろうか？



夜明け前が常に最も暗い

### [Greatchain 訳注]

これは予言とも宗教的信念とも言える、SOTN の力強い言葉である。トランプは大統領職というようなものに興味があるのでなく、彼はそれをはるかに超えた立場に立っている、と言っている。そうでなければ、彼は真にこの世界を改造することはできないだろう。動画で真剣に、この問題について発信している人々も、ほぼそう考えていると思う。彼らのほとんどが、宗教的な信念を持つ人らしいことも、面白いことである。トランプ大統領自身がそうであり、彼と我々の抱える問題も、間違いなく、SOTN の言葉通りに展開していくのではなかろうか？

「共産主義」は無神論を説くものだが、それはかつて我々の間で信じられたような、「神が存在しないという主張」のことではない。それは「悪魔が存在し、それを強力に支持する者たちの主張」である。これが我々の世界を、真っ二つに分けてしまった。そしてその分断こそが、2020 米選挙という、途方もない選挙戦争であった。そこで、SOTN から教えられた（ポルトガルの格言だという）言葉が、ますます現実性を帯びてくるように私には思われる：（繰り返して恐縮だが）「神は曲がった線を用いてまっすぐに書く」。